

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価				
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①類型・コース制の特色を生かした教育課程に、生徒の80%以上が満足している。	①類型・選択科目の内容を生徒に十分説明し、生徒のニーズを達成する類型・科目選択ができるようにする。	B	A	A	①特色を生かした類型・科目選択ができることに生徒の85%以上が満足している。今後も、生徒の実態を把握し、授業内容の点検を複数で行うなど、改善を図る。 ②チャレンジタイムⅠ・Ⅱ・Ⅲの内容に生徒の90%以上が満足している。「基礎学習」「体験」「社会に出ての必要な力の育成」の特色ある活動を継続していく。また、保護者への周知等を行い、充実させていく。	○チャレンジタイムは発展してほしい。 ○特色ある学校づくりに努めていることが生徒の高い数値からわかる。 ○体験学習が多岐にわたり充実している。特に「社会に出て必要な力の育成」は板倉高校の大きな特色として今後も充実させてほしい。 ○金銭収入に直結する仕事だけでなく、ボランティア活動での社会参加も素晴らしい。				
		②チャレンジタイムⅠ・Ⅱ・Ⅲの内容に、生徒の80%以上が満足している。	②チャレンジタイムのそれぞれの目標を示して、生徒一人一人が積極的に活動できるように、内容を工夫する。	A	A	A						
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①「興味関心の持てる授業だった」と、生徒の80%以上が答えている。	①研究授業・授業研究・授業アンケートを計画的・効果的に実施する。	A	A	A	①生徒の85%以上が「授業が分かりやすい」と答えている。また、保護者の78%が「子供が授業内容を理解している」と答えている。引き続き個別最適な学びを行っていく。 ②生徒の65%が「もう少し自分で勉強したい気持ちになった」と答えている。今後、生徒の実態に応じた主体的・対話的で深い学びとなるように、授業改善を推進していく。	○主体的に取り組むことは、今後必要である。 ○向上心をかき立てるような手法を探り生徒自ら動いてほしい。 ○学校の方針に基づき、全職員がチームとして取り組んだ結果である。 ○生徒・保護者に比べて職員の評価が低い。生徒の学習に対する姿勢や興味関心を高めいくために、授業の創意工夫を行ってほしい。				
		②授業後に、「もう少し自分で勉強したい気持ちになった」と生徒の60%以上が答えている。	②生徒の興味関心を意頭におきながら、ペア学習やグループ学習を取り入れ、主体的に深い学びになるように工夫する。	C	C	B						
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	①「基礎科目」において、基礎・基本の知識が身に付いたと感じている生徒が80%以上である。 ②進路目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が80%以上である。 ③資格取得に向けた指導に、生徒の80%以上が満足している。	①教科内で「基本科目」の内容や授業形態について十分検討し、統一歩調で指導する。 ②到達目標を明確にし、授業と補習に繋がりを持たせ、学習の習慣化を図る。 ③個々のレベルに応じて目標を設定し、上位級の模範に挑戦することができる。	A	A	A	①生徒の85%以上が、「基礎科目」によって基礎・基本の知識が付いたと感じている。生徒同士の学び合いなどの活動する場面をより多く取り入れ学力の定着を図る。 ②進路目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が77%であった。指導の点検・改善を行い、早期の進路目標の設定と、日々の学習の重要性を粘り強く指導していく。 ③生徒は90%、保護は78%が、資格取得に向けた指導に満足している。生徒の学習意欲の向上を促進するために整えていく。	○教科書自体がとてもしっかりやすかったり、プリントを多く用いたり授業がよく工夫されている。授業態度もよく、取り残されている生徒がいないという印象を受けた。 ○資格を取得する目標を持って学習に取り組み、進路選択の一助になればよい。 ○進路目標に対する生徒のビジョンが楽観的で苦労されることも多いと感じます。現実を見つても前向きな気持ちを失わせないようご指導を願う。実用的な資格を取得する取り組みは社会に出る際の自信にも培われてとてもよい。				
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①規律が保たれ、学校が安全だと感じる生徒が80%以上である。 ②基本的生活習慣を身に付け、服装頭髪など身だしなみがしっかりしている生徒が80%以上である。	①学校全体で生徒の情報が共有できる体制を整え、モラル向上の行事を計画的に実施する。 ②服装頭髪指導の年間計画を立てて、分掌や学年と連携協力して実施する。	B	B	B	①規律が保たれ、学校が安全だと感じる生徒が76%であった。生徒の個性や特性に配慮し、精神的な安定を図るように環境を整えていく。 ②82%の生徒が、基本的生活習慣を身に付け、服装頭髪など身だしなみがしっかりしていると答えている。各学年が統一見解で服装頭髪指導を実施し、生徒会との連携も図っていく。	○学校の一番の義務は生徒の安全安心を保障することである。 ○服装頭髪など身だしなみがしっかりしている。 ○安全面と清潔にはきちんと配慮されている。 ○校舎がとてきれいで整理整頓され、学習環境が整っている。生徒も落ち着いて真剣に授業に取り組んでいる。地域住民に挨拶してくれる生徒も増え、生徒指導がしっかり行われている。				
		5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	①「学校は、いじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。 ②日頃の情報共有に加え、「生徒情報」を月1回まとめ、職員相互で情報共有し、職員が生徒についての必要な情報を100%理解している。	①いじめに関するアンケートを年間5回、それに伴うフォローアップを年間5回実施する。 ②定期的にいじめ防止対策委員会・ケース会議を開き、組織的な対応をする。	B	B			B	①「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が78%である。いじめアンケートの実施、アンケート結果のフィードバック、日々の生徒観察を行い、早期対応を心掛ける。 ②定期的ないじめ防止対策委員会の実施、生徒情報の把握、スクールカウンセラー、保護者等との連携を図り、今後もいじめの認知・解消に積極的に取り組んでいく。	○いじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている生徒が78%であるが、そう思わない生徒が1割いるのは見過ごせない数値である。 ○全体的に明るく元気で和気藹々としている。真面目で素直な生徒が多く、雰囲気も明るく開放的でとてもよい。	
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①欠席率が5%以下及び遅刻率が3%以下である。 ②交通マナーやルールを遵守して、自分の命を守るという意識を常に持っている生徒が80%以上である。	①保護者の協力を得ながら、段階的指導を行う。 ②交通安全教室、HR等でルールを遵守させ、登下校指導を定期的に行う。	B	A	A	①欠席率が6.0%、遅刻率が2.2%という結果となり、昨年度より欠席率は減少した。引き続き、原因について精査し、保護者との連携を図り、全職員共通理解のもと、支援体制を構築する。 ②交通マナーやルールを遵守して、自分の身は自分で守るという意識を常に持っている生徒が93%である。今後も交通マナーやルールを遵守することの大切さを指導し、交通事故防止に努めていく。	○きめ細やかな温かい指導を願う。命の大切さを身にしみ指導を期待する。 ○欠席率が目標値に届かずとも様々な事情を抱えた生徒もいる中で6%に留まっていることはよい。 ○欠席遅刻率について、体調不良や交通の便が悪いことなど様々な要因がある。社会に出てからは、安易に休むことはできないので、高校生のうちから意識させる必要がある。				
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	①「ドリカムプラン」に満足している生徒が80%以上である。 ②生徒の将来の志望について理解している保護者70%以上である。	①計画に沿って実行し、事後の反省点を拾い上げ、改善する。 ②保護者との関係を密にし、三者面談等を個々の進路に関する情報を提供する。	B	A	A	①「ドリカムプラン」に満足している生徒が94%である。生徒の実態を把握し、生徒の興味関心を喚起するように点検・改善をしていく。 ②生徒の将来の志望について理解している保護者が、87%である。生徒の進路実現に向けて、進路情報を適宜提供する。また、保護者と連携し、個別支援を実施していく。	○ドリカムプランに満足しているということは、キャリア教育が充実している証拠である。 ○個別指導の充実が意欲的な学習につながる。 ○生徒の個性に応じた適切な指導助言がされている。 ○ドリカムプランは板倉高校の大きな特色であり、学校内外からの評価もとても高い。				
		8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	①自分の適性を理解している生徒が、60%以上である。 ②進路実現に向けて、積極的に取り組んでいる生徒が70%以上である。 ③第1希望の進路を実現できた生徒が95%以上である。	①適性検査や体験学習、面談等で自己理解を深める。 ②個々の目標とそれに合わせた具体的な対策を示し、自ら学ぶ意欲を高める。 ③入社試験や入学試験に合格するために面接練習や模試を計画的に設定する。	C	B			B	①自分の適性を理解している生徒が、71%である。自己理解を深める活動の機会を増やすとともに、進路適性検査をよりよい進路選択のために有効に活用していく。 ②進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が76%である。進路実現に役立つ内容を「進路の手引き」、「板倉進路ニュース」に示し、今後も生徒が積極的に取り組めるようにしていく。 ③3学年の調査では、85%であった。今後、進路実現に必要な不可欠な情報を適宜提供するとともに、進路に関しての個別指導を充実させていく。	○第一希望の進路に85%が決まるという数値は素晴らしい。地元の企業などで働く板倉には頑張ってもらいたい。 ○適性検査や自己分析の機会を多く設けられている。今の若者世代のほめて伸ばす教育の悪い側面としての自己評価の甘さ、叱られ慣れないための打たれ弱さ等、生徒本人の適性理解については、苦慮されていると思います。	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①公開授業、学級懇談会等に参加している保護者が、のべ50%以上である。 ②日本語を母国語としない保護者には、易しい日本語または翻訳した通知等を年2回以上配布する。 ③学校のWebページを月2回以上更新する。	①多くの保護者が参加できるような内容に設定し、情報を発信して参加を促す。 ②日本語指導支援員やALTと協力しながら情報を発信していく。 ③学校行事やチャレンジタイム等の情報を発信し、教育活動を広く理解してもらえるように努める。	A	A	A	①1学期は、公開授業、学級懇談会。2学期は、公開授業に参加している保護者が、のべ60.1%である。昨年度より低い。各行事の内容・実施時期・実施方法等を検討し、改善していく。 ②多文化共生・共創を目標とし、生徒の実態に応じた個別最適な支援ができるように日本語指導支援員やALTだけでなく係職員も含め、計画的に情報発信を行っていく。また、易しい日本語の保護者あて通知を紙媒体とともに、GSNメールでも送信した。 ③各行事終了後に、Webページを更新した。また、保護者あて通知は、紙媒体とともに、GSNメールでも送信した。	○積極的に情報発信している。 ○我が子が活躍するとわかるそんな内容の行事があればよい。 ○働き方改革は小中高の喫緊の課題である。改革を推進してほしい。 ○外国にルーツがある生徒も多い中、様々な工夫で保護者との連携を図っている。 ○自動翻訳機の導入ややさしい日本語等、外国にルーツがある方々に向けた配慮と工夫もよくされている。保護者や地域の方々の意見にも迅速かつ的確に対応していただけてとてもありがたい。				
		VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	①教科等の指導場面においてICTを活用し、個別最適な学び、協働的な学びの授業を実践している教員が80%以上である。	①教科等の指導場面において、積極的に活用し、学力・学習意欲面で多様な生徒に応じた授業展開を行う。	A			A	A	①職員の89.5%はICTを活用し個別最適な学びや協働的な学びの授業を実践している。生徒は調べ学習やプレゼンテーションにおいて、ICTを活用するようにしている。また、生徒へのアンケートは、Chromebookを活用し、ペーパーレスで実施している。	○職員の意識の高さの表れである。校長のリーダーシップのもとさらなる職員の成長を期待する。 ○アンケート等のお知らせが直接保護者にメールで届くのはとてもよい。
				11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	①校務分掌・学年等においてICTを活用した業務改善を進め、校務分掌・学年等が実施する諸調査等の60%以上をペーパーレスで実施する。	①校務分掌・学年等が実施する諸調査等をGoogle・フォームを活用し、分析結果を適切にフィードバックする。			A	A		